

(対象期間：2019/6/24～2019/6/28)

**【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移
(2016年1月4日～2019年6月28日)**

【株式市場】

24日に発表された貿易収支が予想外の黒字となったものの、それまで上昇していた不動産株などに利益確定売りなどが見られたことから、週初はインドネシアの株式市場は下落しました。しかし、中国による石炭在庫補充の報道を背景に石炭株を中心に堅調となり、週末にかけて上昇し、週間でも上昇となりました。セクター別では、鉱業、インフラ・公益セクターなどが上昇した一方で、消費財、建設・不動産などは下落しました。

2019/6/21	2019/6/28	変化率
6,315.44	6,358.63	+0.68%

**【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移
(2016年1月1日～2019年6月28日)**

【債券市場】

25日に行われたイスラム債の入札は、史上最高の応札額となり、国内投資家の強い需要が見られました。その後も世界的に債券利回りが低下基調となっていることや、インドネシア中央銀行 (BI) の利下げ期待などを背景に、海外投資家からの堅調な資金流入が見られ、週末にかけて、10年国債利回りは週間で低下 (価格は上昇) しました。国債の外国人保有率はやや上昇し、約39%となりました。

2019/6/21	2019/6/28	変化幅
7.452	7.368	-0.084

**【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移
(2016年1月1日～2019年6月28日)**

【為替市場】

貿易収支が予想外の黒字となったものの、国内輸入業者による実需の米ドル買いが見られたため、ルピア高には繋がらず、週末の20カ国・地域 (G20) 首脳会議 (サミット) を前にして、終始狭いレンジでの推移となりました。週間では対円では変わらずとなりました。

2019/6/21	2019/6/28	変化率
0.7618	0.7618	+0.00%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第379号 / 加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャルは、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・フィナンシャル社とは関係がありません。

英国ブルーデンシャル・グループ

190701 (01)